機械的に自動チェックしている項目

- epubcheckでチェック
- ・サロゲートペアの文字が含まれていないか
- Unicode IVSの文字が含まれていないか
- 日本語フォントにグリフがないスペース文字が使われていないか
- ・ 分離した濁点半濁点文字がないか(OS XのUnicode正規化対策)
- ・(SVGラッピングのページで)画像の実際のピクセル数とSVG側のピクセル数に違いが見られないか

Unicodeのスペース文字はたくさんある

- ・U+0020 SPACE (半角スペース)
- U+00A0 NO BREAK SPACE
- U+2000 EN QUAD
- U+2001 EM QUAD
- U+2002 EN SPACE
- U+2003 EM SPACE
- U+2004 THREE-PER-EM SPACE
- U+2005 FOUR-PER-EM SPACE
- U+2006 SIX-PER-EM SPACE

- U+2007 FIGURE SPACE
- U+2008 PUNCTUATION SPACE
- U+2009 THIN SPACE
- U+200A HAIR SPACE
- U+200B ZERO WIDTH SPACE
- U+200C ZERO WIDTH NON-JOINER
- U+200D ZERO WIDTH JOINER
- ・ U+300A IDEOGRAPTHIC SPACE (全角スペース)

※赤は日本語フォントに字形がない文字

これを目視でチェックするのは無理。機械的なチェックが必要になる。

ワークフローでの品質保持の工夫 ①テキスト関係

- InDesignからXML経由で書き出すフローを取ることで、ルビの脱落を防いでいる(コピー&ペーストだと消える)。
- InDesign内で実際のドキュメントを書き換えて整えていくため、
 文字修飾情報、レイアウト情報の脱落が起きにくい。
- EPUB内に混入するとトラブルになる制御文字類などは、 InDesignからのデータ書き出しと合わせて自動置換/除去を 行っている。

ワークフローでの品質保持の工夫 ②画像関係

- EPUBに挿入する画像は、InDesignから書き出したPDFを元に 作成する。これによりInDesign内でのトリミングなどの画像編 集情報が落ちないようにしている。
- ・画像作成の処理はPhotoshopでスクリプトを利用して行う。ピ
 クセル数の計算を機械的に処理するため間違いが起きにくい。
- ・画像タグへの代替文字やサイズ指定の記入などは、別に用意したCSVの表をもとに一括マージ処理を行う。

ワークフローでの品質保持の工夫 ③目次・索引・注リンク

- ・ 目次はEPUBオーサリング時に本文内の見出し項目を抽出して 自動生成している。このためリンク処理のミスが起きない。
- ・索引はまず本文XHTML内に索引用のタグを挿入し、その後プ ログラム処理で一括生成する形を取っている。
- ・注リンクはオーサリング時に補完処理を行う(リンク先/元のID
 が入っているのを前提にリンク先ファイル名を自動補完する)。

ワークフローでの品質保持の工夫④EPUB内OPF記述データ

- ・OPF内に記述する必要があるマニフェストの値は、指定した元フォル ダ内のファイル情報を元に専用オーサリングアプリで自動生成する。 このためヒューマンエラーが起きない。
- ・ OPF内Spine情報も自動で生成する。Spineの並び順で指定するコンテ ンツ表示順はオーサリング時にGUIで指定する形。
- ・書誌情報等はオーサリングアプリに入力し、値が間違っていないか最 低限のチェックをアプリが行う(カナ必須項目に漢字が入っていたら ハネるetc)。

内部目視校正で主に見るもの

- 画像がブロックごと欠落していないか
- テキストがブロックごと欠落していないか
- 抜けているページがないか
- ・表示順は大丈夫か
- (縦書き本で)縦中横になるはずの文字が寝てしまっていないか
- ・その他太字、圏点、斜体などの付加情報の欠落がないか

目視校正で見ないもの

- 全てのビューアでチェックすることは現実的にできないので
 ビューアを換えての表示チェックはしない。別途チェックファイ
 ルで表示チェックを行い、十分な表示ができないビューアが確
 認された項目についてはできるだけ使わないように。
- 現状EPUBではツメ処理など組版再現は紙に比べれば不十分だが、コンテンツ側で対処できないため、そこは見ない。
- ・漢字の細かな字形差も目視では見ない。

内部校正の具体的な方法

- 制作途中での簡易的なチェックはXHTMLファイルをそのままブラウザ (Safari/Chrome)で見ることで行っている。
- ・ 突き合わせ校正用機材としてiPadを使っている。できるだけ底本の版面に近い(字送り等)状態を作り、絵として左右を見比べる形でチェックする。
- 確認作業者はチェックに使ったビューア内で間違っていた箇所をアプリのマー カー機能でチェックを入れ、iPadごと制作者に渡して修正してもらう。マー ク箇所が一覧できるので便利。iPadの表示アプリとしてはiBooksやKinoppy を使う。

iPad ProのSplit Overモードでの引き合わせ校正

アーカイブ立国宣言 日本の文化資源を活かすために必要なこと

はじめに 文化資源戦略会議

21世紀に入り、日本はグローバル化する世界の中で「坂道 を転げ落ちるように」、その存在感を喪失してきた。「ジャ パン・パッシング」と呼ばれるこの趨勢に加え、中国の強大 化、経済の空洞化、少子高齢化、格差拡大、そして東日本大 震災と福島原発事故により、ますます日本人の不安は増殖し 続けている。2020年のオリンピック開催で一時的にこの傾向 に歯止めをかけられても、抜本的な対策が立てられないなら 趨勢は変わらない。

わが国がこれほどの苦境に陥った最大の理由の一つは、 1980年代から始まっていたデジタル革命の決定的な意味を読 み誤った点にある。「技術力」と「経済力」に自信満々だっ た日本は、デジタル技術の可能性を、もっぱら技術革新や市 場戦略の面からしか理解しなかった。それが人類の知識にも たらす革命的な変化に気づかなかったのである。さらに私た ちは、そうした知識の革命が、世界経済をも呑み込むほどの 大変化であることを理解していなかった。ソニーは結局、ア ップルにもグーグルにもなれなかったのである。

19世紀後半、西洋列強がアジアを植民地化していく中で、 幕末の志士たちは日本の独立を守り、近代化を推進すること に成功した。20世紀後半、戦争に敗れたこの国の技術者たち は、精巧な技術力に基づくモノづくりで世界トップレベルの 経済大国を築き上げた。しかし21世紀初頭、歴史はすでに異

iBooks (EPUB)

アーカイブ_本文_再入稿

はじめに

5 (2 000

はじめに 文化資源戦略会議

21世紀に入り、日本はグローバル化する世界の中で「坂道を転げ 落ちるように」、その存在感を喪失してきた。「ジャパン・バッシン グ」と呼ばれるこの趨勢に加え、中国の強大化、経済の空洞化、少 子高齢化、格差拡大、そして東日本大震災と福島原発事故により、 ますます日本人の不安は増殖し続けている。2020年のオリンピック 開催で一時的にこの傾向に歯止めをかけられても、抜本的な対策が

立てられないなら趨勢は変わらない。

わが国がこれほどの苦境に陥った最大の理由の一つは、1980年代 から始まっていたデジタル革命の決定的な意味を読み誤った点にあ る。「技術力」と「経済力」に自信満々だった日本は、デジタル技術 の可能性を、もっぱら技術革新や市場戦略の面からしか理解しなか った。それが人類の知識にもたらす革命的な変化に気づかなかった のである。さらに私たちは、そうした知識の革命が、世界経済をも 呑み込むほどの大変化であることを理解していなかった。ソニーは 結局、アップルにもグーグルにもなれなかったのである。

19世紀後半、西洋列強がアジアを植民地化していく中で、幕末の 志士たちは日本の独立を守り、近代化を推進することに成功した。 20世紀後半、戦争に敗れたこの国の技術者たちは、精巧な技術力に 基づくモノづくりで世界トップレベルの経済大国を築き上げた。し かし21世紀初頭、歴史はすでに異なる地平で営まれている。この 新しい地平の一つのキーワードはもちろん「デジタル」だが、もう 一つは確実に「アーカイブ」である。

「アーカイブ」が、21世紀の日本再生の鍵となる理由の第一は、 の列島には世界でも稀にみる豊かで多様な文化資産が蓄積されて の目を見ても稀にみる豊かで多様な文化資産が蓄積されて

07

マーカーは一覧表示できる

iPad ᅙ	17:48	≵ 100% ■●
< ‡	再開 アーカイブ立国宣言 日本の文化資源を活かすために必要なこと 目次 ブックマーク	Û
	…パッシング」と呼ばれるこの趨勢に加え、中国の強大化、経済 の空洞化、少子高齢化、格差拡大、そして東日本大震災と福島…	9
	2021	今日
	わが国がこれほどの苦境に陥った最大の理由の一つは、1980年代 から始まっていたデジタル革命の決定的な意味を読み誤った点	; 9
	さしゅつりょく	今日
	グーグル革命」のようなジャンル横断化、 「 <mark>ビッグデータ</mark> 」のよ うな量の巨大化の次に、長い時間をかけて蓄積されてきた知識…	10
		今日
	音楽資料や映画資料、放送番組、脚本、アニメ、マンガ、ゲーム などから <mark>地域文化資源</mark> 、それに災害記録まで、実に多方面の膨…	11
		今日
	この会議に参加したのは、デジタル文化財創出機構、出版デジタ ル機構、記録映画保存センター、 <mark>日本脚本アーカイブズ</mark> 、311	12
		今日
	Sanvosha Media Development Studio	

三陽社メディア開発室